



議会だより

千早赤阪

ちはやあかさか

特集：当初予算特別委員会
村政運営方針に係る質疑



一般質問

田村 陽

- ・モノレールを金剛山観光の起爆剤に
- ・過去の合併協議が破談となった理由は
- ・街灯の電気代はなぜ地区の負担なのか

服部 幸令

- ・コミュニティバスの運行状況は
- ・公共施設の在り方は
- ・行政のデジタル化は

井上 浩一

- ・学校施設の老朽化対策は
- ・防犯カメラ設置助成を
- ・アピアランスケアの支援を

藤浦 稔

- ・村の災害対応について

vol. **148**
May 2024
3月定例会

3月定例会 議決結果

○可決された案件（賛成5人、反対0人）

議案名	内容
専決処分（令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第12号））の承認を求めることについて	物価高騰対応重点支援交付金の増
専決処分（令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第13号））の承認を求めることについて	くすのきホールキュービクル改修工事費の増
固定資産評価審査委員会委員の選任について	渡部要介氏を選任同意
千早赤阪村土砂埋立て等の規制に関する条例廃止について	宅地造成等規制法の一部が改正され、村から府の所管になるため
千早赤阪村情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の改正について	地方公営企業法適用事業に適用するための改正
千早赤阪村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の改正について	法改正に伴う用語の定義及びマイナンバーの利用範囲の拡大に伴う所要の改正
千早赤阪村手数料条例の改正について	指定居宅介護支援事業者等の手数料の改正
千早赤阪村国民健康保険条例の改正について	退職被保険者経過措置廃止等の改正
千早赤阪村特定環境保全公共下水道事業分担金に関する条例の改正について	公共下水道と特定環境保全公共下水道を一体的に運営するため
千早赤阪村消防団員等公務災害補償条例の改正について	非常勤消防団員等の損害補償に係る改正
令和5年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第5号）	特別交付金特定健診等負担金等の返還金が生じたため
令和5年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第5号）	不用による減
令和5年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	後期高齢者医療保険基盤安定納付金確定による増
令和5年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第5号）	人件費及び不用による減
令和6年度千早赤阪村国民健康保険特別会計予算	詳細は特集ページを参照
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計予算	
令和6年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計予算	
令和6年度千早赤阪村下水道事業会計予算	
河南町、太子町及び千早赤阪村介護認定審査会共同設置規約の変更に関する協議について	事務局を河南町に変更する為
千早赤阪村介護保険条例の改正について	令和6年度から令和8年度までの介護保険料の改正
令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第15号）	低所得者支援及び定額減税補足給付金事業等の繰越明許費の追加
令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算（第1号）	定額減税対応基幹システム改修委託料等の増
令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算（第1号）	予算科目の組み換え
地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー（循環経済）の一層の推進を求める意見書について	詳細はホームページを参照
若者のオーバードーズ（薬物の過剰摂取）防止対策の強化を求める意見書について	詳細はホームページを参照

○可決された案件（賛成3人、反対2人）

令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算（第14号）	不用による減及び職員の退職手当の増、基金の積み立ての増等、繰越明許費の追加（農道整備設計業務等）
令和6年度千早赤阪村一般会計予算	詳細は特集ページを参照

○否決された案件（賛成2人、反対3人）

令和6年度千早赤阪村一般会計予算に対する修正案	詳細は特集ページを参照
-------------------------	-------------

議長コラム



村議会議長 千福 清英

令和6年4月3日に大阪南

消防組合消防広域化記念式典が行われた。

私は所用のためやむを得ず欠席し、副議長に代理でご出席いただいた。

大阪南消防組合は、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、太子町、河南町、千早赤阪村の8市町村の自治体で構成され、管内人口は約48万人で、対象エリアは約290km²であり、府内で最も広い地域を担う消防組織である。

記念式典は大阪府知事をはじめ、構成団体の首長やその他関係各位が出席のもと厳かに行われたと報告を受けている。台風や集中豪雨による自然災害や、また近い将来、発生すると予想される大地震に備えるためには、防災力の強化は必須

である。今後、本村においても大阪南消防組合と密に連携し、今以上に防災力の強化を図ることに力を入れていかなければならない。

3月議会は令和6年度各会計当初予算を特別委員会で審議した。委員会では活発な質疑が繰り広げられ、なんと3日間も時間を要した。(※ここ最近では一番長い審議、特集ページをご覧ください。)

各議員、行政担当者の審議への集中力の凄さに感服したが、これが我々の使命なのだと思えて議員としての重責に身が引き締まる思いがした。

村民の皆様へ

議会だよりでは伝えきれない定例会の様子を議場で傍聴ください。また、役場1階の住民フロアで放送しています。村民の皆様、議会と行政の真剣なやり取りを注視してください。ぜひ新庁舎へご来庁を!!

全員協議会

〔令和6年3月22日開催〕

〔定例会最終日の提出議案について説明〕

- 令和5年度千早赤阪村一般会計補正予算(第15号)(案)
- 令和6年度千早赤阪村一般会計補正予算(第1号)(案)
- 令和6年度千早赤阪村介護保険特別会計補正予算(第1号)(案)

今月の表紙



東阪 谷 美桜奈 (みおな) 【1才10カ月】
 谷 美憂花 (みゆうか) 【7カ月】
 父 翔平
 母 絵美梨

仲良く元気にスクスク育ってねえ！
 だいすきだよ♡

表紙写真 大募集!!

議会だより「ちはやあかさか」の表紙を飾っていただけるお子様の写真を募集しています。

【募集内容】

0歳から小学生程度のお子様の写真(複数人でもかまいません)

【応募方法】

写真掲載ご希望の方は千早赤阪村議会事務局までお電話または村ホームページ(村議会)にてご連絡ください。

議会事務局 TEL 0721-26-7168

当初予算特別委員会

令和6年度 会計別当初予算額

会計区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比較
一般会計	37億4,579万円	36億8295万円	6,284万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）	8億1,076万円	8億3800万円	△2,724万円
国民健康保険特別会計（診療施設勘定）	2,714万円	2726万円	△13万円
介護保険特別会計	6億6,631万円	6億3036万円	3,595万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,063万円	1億3825万円	3,238万円
下水道事業会計	3億4,393万円	2億9193万円	5,200万円
総 額	57億6,456万円	56億875万円	1億5,580万円

金額は、1万円未満を四捨五入しています。

下水道事業特別会計は、令和6年度から下水道事業会計（公営企業会計）へ移行しました。令和5年度の数値は、下水道事業特別会計の金額です。

当初予算特別委員会の質疑から、主なものを抜粋しました。

一般会計

（地域創生推進）

問 地域創生推進事業の内容は。

答 地域の活性化を図るため、国の補助制度を利用し、新たな観光コンテンツを創造・発掘していく。

（デジタルツールの環境整備・押忍！スマホ道場）

問 約1年間事業を行ってきた。評価はどう考えるか。

答 地域活性化起業者人制度を活用し、3年計画で行っているが指導者の育成・開催場所が課題だ。社会福祉協議会の生活支援コーディネーターを中心に考えて行きたい。

問 約300名がスマホ等を使われていない現状で、起業者の活用等は出来ないのか？

答 2年目に入り新年度に向け、新事業を組んで行きたい。

（総合防災訓練）

問 継続して実施されるようだが、計画等は。

答 地区単位で、サイクルを考えている。救護所の開設運営、新人職員の防災意識研修等を予定。

（災害用ドローン等整備）

問 内容とこれからの計画は。

（ふるさと応援寄付金）

問 起業者人制度を導入され展開されているが、予算

が減額となっている。どのように評価されているのか。

答 取り組んでいるが数字に表れていない、期待には届いていない。

問 返礼品については、どのようなものを開発したのか。

答 村内の農家、事業所と調整しながら約100品目申請を行っているが、すぐに審査が通らないのでPRも出ていない。

（地域活性化・交流拠点整備検討）

問 誕生地以外に候補地は無かったのか。

答 第5次総合計画の土地利用において、区画を決定して行う考えの中で、まとまりのある土地利用計画に照らし合わせ決定した。

問 区画による選定との事だが、採算性等を吟味してから事業を進めるべきではないのか。

答 全体の事業費の算出については、令和6年度は計画範囲の設定について土地の調査を行い、その後詳細な設計に入っていくたい。

（重層的支援体制整備事業移行準備）

問 事業のスケジュール等について伺う。

答 3年間の移行準備で、国の補助を受け令和4年度から行い、令和7年度から本格実施する。

（地域子育て支援拠点「ひまわり」）

問 要望として、開所日数を増やして欲しいとあるが考えは。

答 交付金を活用しているが、基準額を超え財政的に厳しい。以前提案いただいた閉所日の限定的開所については今後検討したい。



地域子育て支援拠点「ひまわり」
(開所曜日：月・水・金)

(子ども家庭センター)

問 どの様なことを行うのか、府の事業との関係性は。

答 府の事業とは少し異なり、子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点を機能統合し事業を行う予定。より一層、連携、共有を深め支援を行う。

(イベント事業)

問 事業費の内訳はどのようになっているのか？ 棚田夢灯りの事業費は含まれているのか？

答 (仮称) 農業フェアで農産物の品評会等を盛り込んだイベントを検討している。夢灯りの部分は含まれない。夢灯りとの関係も今後内容を検討していく。

(間伐材搬出)

問 令和6年度は事業費が少し減少しているが要因

は。

答 対象森林は存在するが、現実にはマンパワー不足や価格の面から時期的に集中したり、うまく進まない面がある、森林組合さんにも協力をいただきながら進める。

(特産物育成)

問 継続事業だが、現在の状況等を伺う。

答 令和3年度からの事業で、3年度に2件、4年、5年度に各1件実績があり、果樹や野菜は育成に時間がかかることもあり、評価できる段階ではないが、村の特産にと考え、引き続き継続を願いたい。

(農道整備工事)

問 令和5年当初と内容が変化しているが、経緯と内容について伺う。

答 地域に事業について説明したところ、桐山地区が賛同され協議を重ねる中で、より良い方向へ構想設計を令和5年度に行う事となった。

問 将来の農地利用を明確にする地域計画は進んでいるのか、順序がおかしいのではないのか。

答 村としては農道の計画を先に示して農地利用を促進していく考えだ。

問 費用対効果を考えていただきたい。財源はどうなっているのか。

答 国庫補助は無く、過疎対策事業債を活用する。

(生涯学習)

問 減額となっているが、理由と内容について伺う。

答 令和4年度までは村外での事業を行っていたが、見直しを行い、文化協会の協力もいただきながら、村民主体の物に変更し経費削減となつた。

た。

(郷土資料館収蔵品管理)

問 どのような計画なのか、1年で終了なのか。

答 資料館の収蔵庫に、出土品や寄託された古美術品などあるが整理整頓が必要。美術品や古文書等は委託をし、今年度中にデータベース化した。それ以外は職員が今後継続して行う。

(中学校管理運営)

問 樹木伐採等委託料については村道端の部分で桜並木の部分なのか。

答 府道から村道の上り坂の桜並木となっているところ。桜の部分は申し合わせで教育委員会が行う事となっている。作業が難しい場所なので、予算見積もり計上している。



府道から村道のの上り坂の桜並木

問 部活動補助金については備品等の部分と思うが、部活動の地域移行についての考えは。

地域人材が不足している現状で難しいが、教員の働き方改革の意義もあるので、今後情報等精査し検討する。

特別会計

中学校の運動場の災害復旧事業と府道に隣接した部分の工事進捗状況は。

国民健康保険…事業勘定

運動場部分については、入札が終わり業者決定したところだ。本格工事は翌年度行う。

療養給付費が減額となっているが、どのような見込みなのか。

府道に隣接部分は、府道の線形改良工事に伴い行われると承知している。

1人当たりの医療費は伸びているが、全体としては減少となった。

千早地区の生徒のバス通学の現状は。

国民健康保険…診療施設勘定

現在、登校時は赤阪小学校の便に同乗して、下校時については4時台に村バスを1便増便し、早いタイミングで乗られる場合は赤阪小学校の下校便で対応している。

医療費の激変緩和措置の内容を伺う。

令和6年度のプールの一般開放はするのか。

総所得額と料率をかける前の金額が58万円以下の方については、料率が0.81%引き下げ計算される。昭和24年3月31日以前にお生まれの方は、80万円の保険料限度額が73万円の限度額となり、第8期と同水準の保険料となる。

安全管理に多額の費用が掛かるため断念した。

発熱外来を空きスペースに設け、軽微な修繕を行いついて対応している。

財産貸付収入が100万円ほどの増だが、理由を伺う。

後期高齢者医療

旧野外活動センターの貸し出し分で、来年度以降120万円の予定。農産物直売所分の減があるので、約100万円の増になる。

小吹台低区中継ポンプ場改築更新工事と維持管理業務について伺う。

なぜ、国政選挙では移動投票所は開設しないのか。

現在稼働中のポンプは老朽化しており、維持管理をしながら予算に見合った工事を少しずつ行う予定だ。住民には極力不便をかけないよう進める。

国の選挙については、投票箱を多数移動しなければならぬ等の理由で行っていない。

（一般会計予算に対する討論）

今後行う予定は無い。

（反対討論）（田村議員）

（国民健康保険…事業勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

千早診療所の現状は。

多額な資金が今後必要となる本村において、取り返しがつかない傷を与えてしまう。

（国民健康保険…診療施設勘定）

（国民健康保険…診療施設勘定）

当初予算特別委員会の中の採決

令和6年度千早赤阪村一般会計予算

賛成4人 反対1人

（賛成討論 ②）（徳丸議員）

村民のための施策実施は評価している。抜本的な人口増に踏み切るために、子育て支援策をさらに充実させることを求め、意見をつけて賛成する。

（賛成討論 ①）（井上議員）

農林業の振興、地域公共交通の維持確保、地域振興の促進などを国の財政支援等を活用しながら効果的に予算計上されており、一定の評価をする。今後住民ニーズを的確に把握し、住民目線で事業を行う事はもちろん、重点施策の推進、財政健全化に配慮し、安定した行財政運営を願う。

令和6年度当初予算に関して、村長に直接質問するものです。

公明党

Q 地域活性化・交流拠点整備事業について、事業を進めるにあたり「理念」はあるのか？

A 賑わいづくりを行い、村民の生活向上へ繋げる。

公明党

Q 仮称「農業フェア」とは？

A 農産物の即売・品評会、他のイベントとの共催。

平政会

Q 農道整備工事は大きな予算を投じられているが、予定地・総額予算は？

A 桐山地区を予定。総額は実施設計終了時示す。採算性については、他に得られるメリットを重視する。

平政会

Q 地域活性化・交流拠点整備事業の費用総額・費用対効果は。

A 多額の費用が見込まれるが、手法により総額は大きく異なる。費用対効果も合わせ、検討を進める中で示す。



平政会

Q 村の現状をどのように認識しているのか、課題解決の優先順位は？

A 課題は山積している、村民の生活を守りながら、意見を伺いながら将来に向け着実に進める。

服部会

Q 防犯カメラの増設要望があるが、考えは。

A 設置についての直接要望は無いが、必要に応じ検討する。

服部会

Q 地域活動応援補助金交付事業の財源と事業内容は？

A 財源の一部は「ふるさと応援基金」。地域課題に取り組む事業に対し1地区100万円を上限に補助する。

服部会

Q 空き家の特別措置法が施行された、村としての対応は？

A 市町村が指導・勧告・相続財産の清算人の選任請求が可能になり、法に基づき適切に推進する。



モノレールを金剛山観光の起爆剤に



将来にわたってもモノレール設置についての考えがない



田村 陽 議員



天川村モノレール

問 村議会として昨年末に奈良県天川村のモノレール2基を訪問した。モノレールは、ロープウェイ等と比べ設置の費用負担が少なく、また自然公園である金剛山の景観を際立って損なうと

問 役場が現状考えていることしか考えないというなら、我々の提案自体が無駄ということか。

答 将来にわたってもモノレール設置についての考えがないことから、可能かどうか考えていない。

問 昨今現在は撤去することしか頭にない。

過去の合併協議が破綻となった理由は



中学校裏の村道（街灯未設置）

問 昨年5月より太子町、河南町と南河内地域2町1村未来協議会が行われている。合併は村民への影響も大きく、議会としても慎重に議論して

いかなければならない。平成14年から富田林、太子町、河南町との間で合併協議がされていたが破綻となった。まずはその経緯について伺う。

答 合併方式の変更に伴う課題への調整がつかず、合併特例法の法期限

が図れず、平成21年、河内長野市に協議を断念する旨を申し入れた。

街灯の電気代はなぜ地区負担なのか

問 街灯は、地区住民だけではなく観光客や道路利用者といった方々も利用しているにもかかわらず、なぜ地区が負担することになっているのか。

答 主に地区住民以外の方が利用する場所に関しては村が設置すべきではないかと思うが、村が防犯灯等を設置することは可能か。

内での市町村間の合意形成が困難であるとの判断の下、平成17年をもって協議会を解散した。

答 防犯灯の設置については村に設置義務がないため、考えていない。

問 河内長野市との合併協議の経緯は。

要望 中学校裏の村道のように、地区の住民があまり利用しない場所への街灯の設置は村が行うべきだ。

答 平成19年に河内長野市への編入合併の意向を表明。その後、合意形成

地区住民の要望により地区で設置されたものであ



問

コミュニティバスの運行状況は

答

持続可能な地域公共交通システムの確立に努める

令和5年12月21日から令和6年1月20日まで1カ月間の利用状況

村立中学校前から 富田林駅間	1日あたりの便数	乗降客数	1日平均
南海バス	12便	9,998人	323人
村バス補完運行	7便		
村立中学校前から 金剛登山口間	1日あたりの便数	乗降客数	1日平均
村バス	12便	984人	32人

服部幸令 議員

問 金剛バスに代わり、村内を南海バスと村バスが運行している。運行から約2カ月が経過したが、新公共交通システムになってからの住民の意見や運行状況について伺う。

答 利用者からは、中学校前バス停で乗り継がな

問 オンデマンドの乗合バスや、国で議論されているライドシェアの導入等、地域公共交通担当課だけではなく福祉担当部局等とも連携し、持続可能な地域公共交通システムの確立に努める。

要望 本村に適した地域公共交通の確立に向け、議会と理事者の双方で議

問 令和5年6月から9月末まで、小吹台連絡所の開所日の縮小実験が行われた。地域住民からは、連絡所やいきいきサロンやまゆり等の公共施設の今後を心配する声が聞かれる。小吹台をはじめ老朽化が進んでいる公共施設をどうするのか伺う。

答 小吹台連絡所、いきいきサロンやまゆりをはじめ、村の多くの公共施設において老朽化が進んでいる。これらの施設については、千早赤阪村公共施設等総合管理計画に基づき、施設別耐用年数等により整備を進めていく必要があるが、更新には多額の費用が必要であり、村の財政は非常に厳しい状況にある。今後それぞれの施設の機能を保持しつつ、施設の複合化

要望 高齢者の皆さんがスマートフォンを持ちやすく、また使いやすくなる環境を整備していただくよう村長が先頭に立って事業者と交渉することを要望する。

ければならない、便数が減った、村バスの運行ミスに関する苦情等の他、代替交通が運行され、陸の孤島にならなくて良かった、富田林発の最終便がコロナ禍以前と同じ時刻に戻って良かったとの声がある。また、4市町村のコミュニティバスエリアに住んでおらず恩恵を受けていないため、多額の税金の投入に疑問を感じるとの意見も寄せられている。

問 村独自でコミュニティバスを維持していくことは厳しいと思われるが。

答 論を重ねていくことを要望する。

問 本村では、高齢者を対象に「押忍！スマホ道場」を開催し、デジタルデイバイド対策に取り組んでいるが、まだスマートフォンを持つていない高齢者がいる。村としての対策は。

答 行政のデジタル化の推進を目的として人材派遣をしているJCOM(株)に、例えば村独自の高齢者向けの低価格プランの提供や端末代の負担軽減等を働きかけ、スマートフォンを持ちやすくする等の環境整備の議論を進めている。

公共施設の在り方は

行政のデジタル化は

やPFI手法の導入等、総合的に検討を進める。



学校施設の老朽化対策は



計画に基づき対応していく



井上浩一 議員

学校施設の維持管理の徹底に向けて
—子供たちを守るために—



令和2年5月

文部科学省

問 全国で学校施設の老朽化による事故が発生している。今後重大事故につながる恐れもある、また、避難所としても活用されることから早急な対応が必要だ。今後の点検・修繕・改修、老朽化対策の計画について伺う。

答 本村の学校施設は法に基づき点検調査している。今後の計画については、早急な対応が必要だ。今後の点検・修繕・改修、老朽化対策の計画について伺う。

問 学校は避難所としても機能する、新年の地震でも耐震改修された学校施設が倒壊を免れ重要施設となっている。電源やトイレの整備についての考えは。

答 学校施設の改修計画と合わせて検討する。資材については引き続き充実を図る。

問 設置要望は無いとの事だが、全国的にも多い

答 設置要望は無いとの事だが、全国的にも多い

問 現状の老朽化の状況等の調査は出来ているのか、いつ改修するのか。

答 令和元年に策定の学校施設長寿命化計画の調査では、屋根や屋上はおおむね良好、外装に部分劣化はあるが安全、機能上は問題なしとの結果。しかし、長寿命化の改修時期と認識、村の公共施設全般を計画的に改修の必要があると考える。

問 防犯カメラの有効性は周知の事実だ、近隣の自治体では以前より行政の後押しで設置事業が進んでいる。村では主要な交差点のみ設置されているが、目立たず、運用も限定されている。地域から設置の要望も多いと聞くが、行政の考えを伺う。

答 防犯カメラの有効性は認識するが、設置箇所等は慎重な判断が必要だ。村設置の物は警察との協議で運用している。防犯カメラや告知看板は基準に基づき設置している。地域からの要望は無いが、必要に応じて検討する。

防犯カメラ設置助成を

図1 外見に現れる身体症状の苦痛度は高い

Rank	Symptom	Score
1	髪のはげれ	3.47
2	乳房切取	3.22
3	ほき気・嘔吐	3.14
4	手足のしびれ	2.84
5	全歯の痛み	2.81
6	まゆげのはげれ	2.77
7	まつげのはげれ	2.76
8	体表の傷	2.76
9	手の爪割れ	2.75
10	手の二枚爪	2.75
11	便秘	2.75
12	定片のはげれ	2.71
13	だるさ	2.71
14	口内炎	2.70
15	発熱	2.70
16	足のむくみ	2.64
17	手爪のはげれ	2.61
18	味覚の変化	2.61
19	顔のむくみ	2.58
20	しみ・くま	2.57

例えば
乳がん女性
苦痛度TOP20

- ・20位のうち60%が外見症状
- ・眉毛やまつげの脱毛など、痛みやかゆみも伴わない外見症状が、これまで医療が対処してきた副作用症状（便秘、口内炎、発熱等）より苦痛度が高い

(Nozawa et al, Psychooncol,2013)

アピアランスケアの支援を

問 アピアランスケアとは、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアと表現される。抗がん剤治療等による脱毛や皮膚の傷、手術による乳房切除等、治療による外見の変化に起因する患者の負担を少しでも和らげるために、ウィッグや乳房補正具の購入助成を村でも行ってほしい。

答 実施に向け検討する。

※（定例会最終日に、追加提案（補正）により事業確定）



藤浦 稔 議員

問 村の災害対応について

答 災害には、自助・共助の取組みが重要

問 村では、南海トラフ地震などに備え耐震性が高く防災拠点となる新庁舎や防災倉庫が整備され、職員の「災害時の初動訓練」も実施されている。



昨年11月に実施した総合防災訓練

また昨年11月には「震災直後における自助・共助の促進」などを目的とした「総合防災訓練」が実施されたが、各地区の自主防災組織に訓練不足が目立った。今後には備え、村職員な

どと一致協力した訓練が必要と思うが村の考えを伺う。
答 震度5弱以上の地震が発生した時には、職員が役場まで参集するが、大規模な被害があった場合は、職員の安否も含めあらゆる状況を想定した参集訓練も実施している。大規模災害には、自助・共助による取組みが重要であると認識している。昨年11月の防災訓練は、これまででない規模で実施したが、まだまだ改善すべき点があると認識している。また自主防災組織・地域住民・村との合同訓練も必要であると認識している。

問 訓練には村の社会福祉協議会は参加していなかったが、避難所開設や救援物資の受け入れなど村との連携が必要ではないのかと考えるがいかがか、また訓練には、災害時応援協定を結んでいる

第一航空やアカギヘリコプターに要請し参加してもらっているが、訓練参加費用を伺う。
答 社会協議会の訓練参加については、訓練内容の充実検討の中で反映していく。訓練のヘリコプター費用は、第一航空11万4千4百円、アカギヘリコプター182万5千円。



防災倉庫

要望 地震など予期できぬ災害を日常的に考えていくのは難しい、災害を風化させないことが大事である。
住民に防災意識を持ってもらうためにも地域住民が主体となった防災訓練の実施が必要である。

ぎかいの窓

令和6年2月29日、岬町より議長はじめ4名の議員が本村のコンパクトでありながら、防災拠点も兼ね備えた新庁舎を視察に来られました。

視察後は、意見交換などを行い、岬町では、地域の公共交通を担う民間のバス路線が平成28年に廃止され、その後、町のコミュニティバスを運営されておられ、色々と苦勞されたとのことでした。本村としても、ご教授願うことが多々あると感じました。

新庁舎の完成に伴い、楠木正成の銅像が、旧千早小学校から新庁舎前に移設され、来庁者などの多くの人の目にとまるようになったことは、大変うれしく思います。その楠木正成の銅像前で記念撮影をしました。



岬町議員と記念撮影



能登半島へ職員派遣

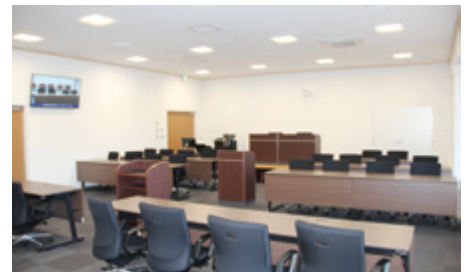
1月1日に能登半島地震が発生してから3カ月余りが過ぎました。しかしながら、復興はまだまだで、4月に入っても水道の断水が続いている地域もあります。

本村も能登半島の復興支援に向けて、村役場職員の派遣を行いました。1回目は2月1日に派遣し、3月末までに職員を4回派遣しました。派遣者に対し、村長は、「避難者に寄り添った活動を」と訓示し見送りました。

テレビ等で毎日、現地の様子が報道されていますが、被災者の皆様ですが、自衛隊員、各自自治体から派遣されている職員、また一般ボランティアや医療関係者のご苦勞は大変なものだと思われま

す。一日も早く復興し、住民の皆さんが以前のよう暮らしに戻れますよう、様々な支援を行いたいと思います。

議会を傍聴しませんか



次回定例会の予定

- 5月29日(水)から6月6日(木)です。
- 5月29日(水) 本会議 初日(一般質問) 午前10時
- 5月30日(木) 文教建設常任委員会及び総務民生常任委員会 午前10時
- 6月6日(木) 本会議 最終日 午前10時

上記日程は、状況により変更になる場合があります。

尚、一般質問は、初日に行います。傍聴される場合は、議会事務局までご確認ください。

1階フロアの設置モニターにより議会の様子を見ることができます。

議会事務局 TEL 0721-26-7168
議場・議会事務局は、千早赤阪村役場庁舎3階

雑感

この記事を書いている3月上旬に大きな事件が起きました。「大谷翔平電撃婚」の突如の結婚発表には、世界中が驚き狂喜乱舞しました。「大谷の嫁にあこがれるのは、やめましょう」等の名(迷)言も生まれ、各国から祝福の言葉が贈られました。

一方で、「結婚しても子どもを望まない」という意見が6割近くになっています。さらに、今の物価高や経済状況では、二人目は断念する声も多くあります。

約40年前は三公七民ぐらいの負担でしたが、現在は五公五民ぐらい国民負担率が増加しています。これでは、若者が将来への希望を持てず、少子高齢化に歯止めがかかるはずもありません。異次元の少子化対策も進んでおらず、今一度、政府には抜本的な対策を求めたいと思います。

服部

広報編集委員会

- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 服部幸令 | 副委員長 | 田村 陽 |
| 委員 | 井上浩一 | 委員 | 徳丸初美 |
| 議長 | 千福清英 | | |